

今週の為替相場見通し(2016年12月19日)

総括表		先週の値動き			今週・来週の予想レンジ
		注	レンジ	終値	
米ドル	(円)		114.75 ~ 118.66	117.90	116.00 ~ 120.00
ユーロ	(ドル)		1.0367 ~ 1.0670	1.0455	1.0200 ~ 1.0500
(1ユーロ=)	(円)		121.50 ~ 124.07	123.29	120.00 ~ 125.00
英ポンド	(ドル)		1.2378 ~ 1.2728	1.2485	1.2350 ~ 1.2650
(1英ポンド=)	(円)	*	144.76 ~ 148.46	147.37	144.50 ~ 148.50
豪ドル	(ドル)		0.7267 ~ 0.7525	0.7305	0.7150 ~ 0.7450
(1豪ドル=)	(円)	*	85.74 ~ 87.54	86.15	85.00 ~ 88.00

(データ)先週の値動きに関して、注の欄で無印の項目はみずほ銀行、*印の項目はブルームバーグ。

1. 米ドル

為替市場第一チーム 和地 淳史

(1)今週・来週の予想レンジ 116.00 ~ 120.00 円

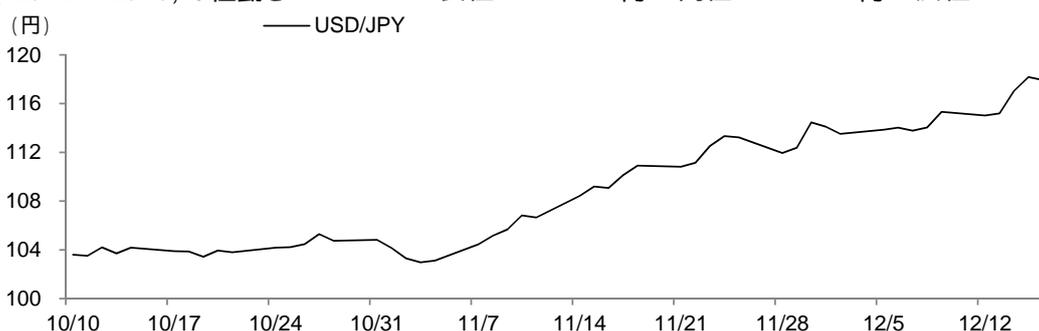
(2)ポイント【先週の回顧と今週と来週の見通し】

先週のドル/円相場は、FOMC後に急騰する展開となった。週初12日、115円台前半でオープンしたドル/円は、週末に開かれたOPECと非加盟国の協調減産合意を受けた原油価格の急騰や米金利上昇を背景に116円台前半まで上昇した。しかし、その後は各市場で利益確定の動きが優勢となったため、ドル/円も115円台前半まで反落した。13日もドル売りが見られる中、一時週安値となる114.75円まで下落。しかし、株価が堅調に推移すると押し目買いが入り、115円台前半まで反発した。その後は注目のFOMCを控えて115円付近で揉み合い。14日のFOMCで決定された0.25%ポイント利上げ実施は市場予想通りであったものの、メンバーの政策金利見通し(ドットチャート)において2017年の利上げ回数が2回から3回に上方修正されたことを受けて米金利が上昇。ドル買いの展開となり、ドル/円も117円台前半まで急騰した。15日にかけては米金利上昇とドル買いの流れが継続する中、ユーロ/ドルが2003年1月以来の安値をつけたことにも材料視されて、ドル/円は一時週高値となる118.66円まで上げ幅を拡大。ただし、16日には利益確定売りが見られる状況下、「中国が南シナ海で米輸送船を捕まえた」との報が流れるとリスクオフの展開となり、ドル/円は118円台から急落。短期のストップを巻き込んで117円台半ばまで下落する場面が見られた。その後は原油価格が反発したことや捕まえられたのは米輸送船ではなく米軍の無人潜水機であったことが明らかになったことで、ドル/円は若干値を戻して117.90円で越週した。

今週、来週のドル/円相場は、底堅い展開を予想。トランプ勝利以降の米金利上昇及びドル買いの流れが先週のFOMCにおけるドットチャート引き上げによってサポートされたため、ドル/円は引き続き買い優勢の展開となる可能性が高い。また、イエレンFRB議長の「長期金利の上昇やドル高は政策期待からだと思う」との発言に鑑みると、米当局者からのドル高けん制も暫くはないだろう。なお、20日(火)の日銀金融政策発表では市場予想通り現状の金融政策を維持する可能性が高いほか、米国では21日(水)に11月中古住宅販売件数、22日(木)に11月耐久財受注、11月個人消費・支出、及び11月PCEコアデフレーター、7~9月期GDP(3次速報値)、23日(金)に11月新築住宅販売件数が発表される。加えて来週も経済指標がいくつか発表されるが、いずれも相場の流れを変化させる材料とはなりにくい。但し、クリスマス・年末休暇を前に参加者が少なくなる状況下、今週から年初にかけて118.00円を若干のオプションが満期を迎えるため、118円付近では上下しやすいことには注意したい。

(3)先週までの相場の推移

先週(12/12~12/16)の値動き: 安値 114.75 円 高値 118.66 円 終値 117.90 円



(資料)ブルームバーグ

